

MRテキスト2018

疾病と治療

臨床

正誤表

(2019年6月)

頁	該当箇所	誤	正
4	左の上から16行目	国際頭痛分類（第3版β版）	国際頭痛分類（第3版）
8	右の上から25行目	錯乱状態などの表現は意識内容の変化についての質的評価である。	錯乱状態などは意識内容の質的な変化を表す。
23	左の上から7行目	脳幹の障害では眼振、複視、運動失調、めまい、起立・平衡障害、嚥下障害などの脳神経麻痺症状などの小脳症状を認める。	脳幹の障害では眼振、複視、運動失調、めまい、起立・平衡障害、嚥下障害などの小脳症状や脳神経麻痺症状を認める。
28	左の下から5行目	発症後8時間以内	発症後6時間以内
	右の上から4行目	発症後48時間以内	発症後24時間以内
2018年 6月追補 42	左の上から5行目	症状が認められる。	症状である。
89	欄外のSelf Check	急性肝炎の治療について概説できる。	急性肝不全の治療について概説できる。
93	左の上から8行目	肝内部超音波検査の不整	肝内部エコーの不整
112	図6-10	図中の矢印（↓）の不足	「骨密度がYAMの70%以下または-2.5SD以下」の囲みから「薬物治療開始」の囲みへ向かって矢印を入れる
	左の下から5行目	代表的なビタミンK ₂ 製剤にはメナテトレノンがある。	骨粗鬆症治療薬としては、ビタミンK ₂ 製剤のメナテトレノンがある。
147	右の上から1行目、3行目	TSH受容体刺激抗体	TSH受容体抗体
150	左の下から15行目	診断はまず触診を行う。	診断はまず甲状腺の触診を行う。
	右の上から10行目	起る	起こる
151	右の上から15行目	がんの転移による	がんの副腎転移による
157	左の下から2行目	筋肉内または経口投与	筋肉内または静脈内投与
162	右の下から5行目	ブドウ膜	ぶどう膜
163	図10-2の図中文字		
	右の下から9行目		
165	右の下から2行目		
166	左の下から11行目		
163	右の上から2行目	そのうち約80%	そのうち約90%
165	左の上から5行目	角膜内皮が薄い場合は	角膜内皮が少ない場合は
	左の下から11行目	4つであるが、前述の検査はいずれも重要	4つであるが、いずれも重要
168	左の下から19行目	耳管を閉鎖させる病態やその機能の不全、気圧の変化などは病態を悪化させる。	耳管を閉鎖させる病態やその機能の不全の場合、航空機や登山などによる気圧の変化は病態を悪化させる。
169	左の上から1行目	真皮の病変であるため、	削除
172	右の下から5行目	2. 直接接触感染（性感染など）	2. 直接接触感染
173	図11-1	（中央下の囲み内）ワクチン投与	新生児へのワクチン投与
173	右の下から6行目	ツツガ虫病	ツツガムシ病
185	右の上から1行目、2行目		
179	右の下から7行目	核様体という二本鎖のDNAが核膜に囲まれず浮遊し、	環状二本鎖のDNAが核膜に囲まれず浮遊し（核様体）、
183	左の下から6行目	タンパク質	タンパク
184	右の下から9行目	a) 皮膚糸状菌（白癬菌）	a) 皮膚糸状菌（白癬菌など）

187	表11-4	MDR-TB : multidrug-resistant tuberculosis	MDR-TB : multi-drug-resistant tuberculosis
	右の下から8行目	(2007年に改正).	(2007年に改正法施行).
203	左の上から14行目	特に未分化がんは、どの細胞から発生したか不明ながん細胞で、増殖が速く、悪性度は最も高くなる。	特に未分化がんは増殖が速く、悪性度は最も高くなる。
217	左の上から5行目	皮膚潰瘍の順に進行する。	皮膚潰瘍などの所見があげられる。
	左の上から7行目	受診するケースも多く、	受診するケースもあり、
	左の上から9行目	性状を確認する必要がある。	血性か淡黄色などの性状を確認する必要がある。
	左の下から8行目	早期の乳管内がん（非浸潤がん）であることが多いので、	乳管内がん（非浸潤がん）の可能性もあるので、
219	右の下から10行目	乳房切除術と同等になるようにするため、	乳房切除術と同等になるように、
220	左の上から14行目	術後化学療法（AC）	術後化学療法
228	左の上から1行目	フィラデルフィア染色体が証明されれば診断確定される。	診断確定にはフィラデルフィア染色体の証明が必要となる。
	右の上から8行目	PET/CT	PET-CT